

第2回行政改革推進委員会議記録（要約）

日 時 令和4年2月24日（木） 午前10時～11時30分

場 所 近江八幡市役所4階第1委員会室

出席委員 青山委員・小川委員・川崎委員・城念委員
橋本委員・林委員・藤原委員・真山委員・壬生委員

事務局 総合政策部 嵐理事
行政経営改革室 岡村室長
今村主幹
三浦主査
園田主査

1. 総合政策部 嵐理事挨拶

2. 議題

（1）公共施設等総合管理計画 中間見直しについて

事務局 「【資料①】公共施設等総合管理計画 中間見直しについて」に基づき説明

（説明概要）

- ・令和3年度は、公共施設等総合管理計画の第1期（平成29年～令和8年の10年間）の中間地点であり、また総務省からの通知に基づいた見直しを実施し、追補版を作成した。
- ・行政系施設の施設保有量割合（追補版29-1頁参照）について、当初7.25%に対し令和3年度は3.57%となっている。これは当初策定時には新庁舎床面積を20,000㎡として計画していたものに対して政策変更により9,000㎡へと削減したことに伴う差となる。
- ・有形固定資産減価償却率（追補版29-2頁参照）について、概ね全国および県平均の比率より良好な水準である。ただし、認定こども園・幼稚園・保育所（追補版29-2.2頁参照）、庁舎（追補版29-2.3頁参照）については全国・県平均を大きく上回っており、老朽化が進んでいることが示されている。
- ・公共施設における維持管理経費・更新経費（追補版34-1頁参照）について、計画策定期間内での総計は約2,034億円（年間51億円）となり、財政負担が非常に大きいことが示されている。委託料削減等の手法を検討する必要がある。

各委員から意見を求める。

委員	有形固定資産減価償却率とは何か。
事務局	簡潔に説明すると資産の老朽化を示す指標である。意味を資料に追記する。
委員	公共施設における維持管理経費・更新経費の委託料削減の手法は、どのような事を想定しているか。
事務局	一例を紹介すると、各施設の管理者が別々に維持管理している現方式から、類似施設の維持管理をまとめて委託する等のスケールメリットを活かした方式を想定している。
委員	委託仕様書や施設のあり方についても見直しを実施して適切に管理すること。安易に委託料削減という手法だけを取らないように願いたい。
事務局	承知した。
会長	当議題については了解いただいたものとして、次の議題について事務局から説明を。

(2) 個別施設計画 中間見直しについて

	「【資料②】個別施設計画 中間見直しについて」に基づき説明
事務局	(説明概要) ・公共施設等総合管理計画の見直しに併せて当資料も見直しを実施した。 ・現時点での状況で最新化を行った。既に除却済みである施設はグレーで塗りつぶしている。方針変更等がある施設には、変更前後を併記して修正点が明確になるよう記載している。 ・見直しを実施した結果、第1期削減率が10.15%となる見込みであり、目標7%を達成できる想定である。ただし、こちらも新庁舎の計画変更に伴う施設延床面積の削減が達成率の割合を占めることとなっている。第2期に向けて、着実に本計画を遂行していくことが必要である。 (各委員から意見を求める)
委員	施設増加の理由は何か。
事務局	一例をあげると、旧岡山小学校については当初全て除却予定であったことから延床面積がゼロで算定されていたが、計画変更により体育館を残すこととなった。他には、老蘇こども園の増築などがある。

委員	市民感覚として、こども園が建設されており市内の施設は増えているように感じているが。
事務局	この数値は市庁舎整備の政策変更によるものが大きい。また、近年建設されている子ども園は公設でなく算定されていない。
委員	承知した。
会長	当議題については了解いただいたものとして、次の議題について事務局から説明を。

(3) 事務事業評価 外部評価結果報告書、外部評価結果に対する改善シート

事務局	「【資料③-1】事務事業評価外部評価報告書」および「【資料③-2】事務事業評価外部評価結果」に基づき説明 (説明概要) ・外部評価報告書(資料③-1 参照)については、昨年10月に実施した事務事業外部評価委員会にていただいたご指摘の内容を取りまとめたものである。当資料は市長、副市長、総合政策部長にて確認済みであり、ご指摘等については各所管課へ通知している ・外部評価結果に対する改善シート(資料③-2 参照)については、外部評価報告書でのご指摘に対して各所管課にて対策を検討したものを本市行政改革推進本部会議(市長・副市長・部長からなる組織)にて承認を得たものとなる。 ・空家等対策事業(資料③-2、3 頁参照)について、体制強化を目指し協議を始めている。明確な実施時期は確定していないが引き続き進めていく。 ・安土福祉自動車運行事業(資料③-2、7 頁参照)について、平成29年度外部評価時と同じく方向性が検討中となっているが、令和4年度中に方針策定できるよう進めていく。 ・防災活動事業(資料③-2、8 頁参照)について、こちらも体制強化を目指し協議を始めている。明確な実施時期は確定していないが引き続き進めていく。 ・その他事務事業についても令和4年度以降、順次取り組んでいく。 (各委員から意見を求める)
委員	防災活動事業について、水防に対しての方針はどのように決定したのか。
事務局	現状、災害対応および防災対応については市民部(危機管理課)が所管しているが、水防対応については都市整備部(管理調整課)が担っ

	ている。また、水防時には水防本部が設置され、市長指示のもと避難所の開設等の指示を出すこととなる。災害の状況により所管が異なることも含めて体制強化について検討していく。
会長	安土福祉自動車運行事業について、今後どのような体制で検討していくのか。
事務局	当事業の所管となる安土町総合支所を中心に、交通政策課や福祉政策課を交えて一緒に協議していく予定である。
会長	当議題については了解いただいたものとして、次の議題について事務局から説明を。

(4) 行政経営改革実施計画の進捗状況報告

	「【資料④】行政経営改革実施計画の進捗状況報告」に基づき説明
事務局	(説明概要) ・ 令和2年度に策定した行政経営改革指針の具体的な取組内容について記載した行政経営改革実施計画について、令和2年度および令和3年度の進捗状況を取りまとめたものである。 ・ 内訳としては、A評価27、B評価14、C評価0となっている。 ・ 概ね順調に進んでいるが、B評価の項目については改善を、A評価の項目についてはより良い実施となるよう取り組んでいく。 (各委員から意見を求める)
委員	公有財産の有効活用と処分(資料④、21頁参照)について、旧金田コミュニティセンターの土地整理の問題とは何か。
事務局	隣接地と本市所有地との境界線について整理しているところである。
委員	身近な自治システムの充実と市民参画の促進(資料④、1頁参照)について、課題として計画の周知を挙げているが、どのような解決方法を検討しているのか。
事務局	リーフレットを全戸配布する方法になると想定している。課題に対しての方針が記載されていない点は、公開までに追記する。
委員	LINE公式アカウント(資料④、4頁参照)について、現在の登録者数はどの程度か。また、登録者数の目標値はあるか。

事務局	現時点で2,598名である。本市タウンメール登録者数である約1万人を超えるよう周知方法を検討していく。
委員	より市民にLINE公式アカウントとともだち登録してもらえるような取り組みは、どのようなことを想定しているか。
事務局	オンライン申請等を増やしていくことで、LINE公式アカウントの利便性をあげていくことを想定している。また、広く市民に知っていただきたい様々な情報、有益な情報など配信する運用を考えている。
委員	他の自治体をみると、様々な事業が系統立てて実施されていないように感じる。例えば、バリアフリーを目的に施設の段差解消に取り組んだ後に、同様の事業を再度実施している。近江八幡市ではどうか。
事務局	計画的に実施し、手戻りの無いよう努めている。
委員	税等の収納率の向上（資料④、13頁参照）について、クレジットカードの導入はいつからか。また、導入効果はどうか。
事務局	令和3年10月から開始している。効果としては、現時点で若干数の申込みがあるため、納付忘れ防止等の効果は一定あると考えている。
委員	定型的・庶務業務の民間委託の推進（資料④、25頁参照）について、アウトソーシングとして想定しているもの、またICT技術の導入によりアウトソーシングが不要となったものは何か。
事務局	市民窓口のアウトソーシングを想定しており、市役所以外で住民票等の交付ができるサービスを検討している。ICT技術の導入によって省力化できたものとしては、一例をあげると市民アンケートの集計作業となる。AI-OCRを活用することで効率的に実施できた。
会長	当議題については了解いただいたものとして、次の議題に進む。

（５）意見交換

委員	平成28年3月の中期財政計画では2024年の積立金残高が30億円との予想がされている。令和3年3月の中期財政計画では150億円と増大している。理由は何か。
事務局	主たる理由としてはふるさと納税による増加である。ただし、寄付者様の意向に沿った事業に使用するため、そのまま積立として残すことはないため、増加しているからといって財政状況が緩和しているわけではない。

3. 閉会

事務局

委員の皆様におかれては、長時間にわたり誠にありがとうございました。
本日は誠にありがとうございました。